

科目・コース（ユニット）名：内科学総論【医学2】

英語名称：Basics & Overview of Internal Medicine

【担当責任者】島袋 充生（糖尿病内分泌代謝内科学講座）、濱口 杉大（総合内科、総合内科・総合診療医センター）

【連絡先】総合内科・総合診療医センター 024-547-1908 fcgp@fmu.ac.jp

【開講年次】2年 【学期】後期 【必修／選択】必修 【授業形態】講義・演習

【概要】内科学は臨床医学の領域において大きな領域の一つである。現代医学における内科学は領域別・臓器別に分化しているが、その根幹となる理念、思考プロセス、診療技術は共通している。臨床医学、内科学を学ぶ第一歩として内科総論の授業を実施する。内科学総論の講義内容は、M3 臨床医学、内科学、M4 症候論とケーススタディ、M4-6 BSL (Bed Side Learning) と密接に関連しその基礎となる。

【学習目標】

- 1) 内科学とは何かを説明できる
- 2) 医師として求められる基本的資質・能力を説明できる
- 3) 診察の手順を説明できる
- 4) 臨床推論について説明できる
- 5) 問題解決志向システムに基づいた診療録（POMR）について説明できる
- 6) 主要症候 37 をあげることができる
- 7) 臨床推論について説明できる
- 8) エビデンスのピラミッドについて説明できる
- 9) PICO(PECO)について説明できる
- 10) 根拠に基づいた医療（Evidence-based Medicine）の概念を説明できる
- 11) 患者中心の医療について説明できる
- 12) バイタルサインをあげて、その必要性を説明できる
- 13) 頭頸部の診察を実施し、診察所見を記録し、正常か判断できる
- 14) 胸部の診察を実施し、診察所見を記録し、正常か判断できる
- 15) 腹部の診察を実施し、診察所見を記録し、正常か判断できる
- 16) 人体において栄養がどのような役割を果たすか説明できる
- 17) 栄養素の不足がどのような疾患につながるか説明できる
- 18) スクリーニング検査について感度・特異度を用いて説明できる
- 19) 検査閾値と治療閾値について説明できる
- 20) 疾患予防について一次予防、二次予防、三次予防の違いを説明できる
- 21) 全人的医療に求められる要素を列举できる
- 22) 現代医療が抱える問題について説明できる

【教科書】

なし

科目・コース（ユニット）名：内科学総論【医学2】

英語名称：Basics & Overview of Internal Medicine

【参考書】

- 内科ポケットレファランズ
- 聞く技術 答えは患者の中にある
- Dr.ウィリス ベッドサイド診断―病歴と身体診察でここまでわかる！
- 誰も教えてくれなかった診断学―患者の言葉から診断仮説をどう作るか
- ジェネラリストのための内科外来マニュアル
- ホスピタリストのための内科診療フローチャート
- 総合内科病棟マニュアル
- Harrison's Principles of Internal Medicine, Twenty-First Edition (Vol.1 & Vol.2) 21st Edition
- 朝倉書店内科学 第12版、2022年3月発行
- 「内科診断学 第4版」 福井次矢、奈良信雄、松村 正巳 編集 医学書院
- 「診察ができる Vol.1 身体診察 第1版」 「診察ができる Vol.2 鑑別診断 第1版」 医療情報科学研究所編集 メディックメディア

【成績評価方法】

原則出席とする。毎回講義終了後に提出する出席表に所定の記入をすることで出席とみなす（出席 1/3 未満は単位を認めない）。成績評価は、毎回の授業における参加の積極性、授業後に実施する理解度テストの点数と出席日数により総合的に評価する。

【学習上の注意事項】

演習では診察手技を実際に体験して学ぶ。積極的な参加を期待する。

【垂直的統合授業の実施内容】

M3 臨床医学、内科学、M4 症候論とケーススタディ、M4-6 BSL (Bed Side Learning) の各ユニットと垂直統合し、臨床能力を高めるための工夫をこらす。

【水平的統合授業の実施内容】

該当なし

【本学独自の、あるいは先端的な研究要素のある授業の実施内容】

福島県・福島県立医科大学は総合内科医・総合内科医の育成で日本での先端を進んでおり、総合的な診療についての教育機会が豊富である。このコースではすべて総合内科医または総合診療医が授業を担当する。また、内科学総論は、M3 臨床医学、内科学、M4 症候論とケーススタディ、M4-6 BSL (Bed Side Learning) の各ユニットと垂直統合し、臨床能力を高めるための工夫をこらす。

科目・コース（ユニット）名：内科学総論【医学2】

英語名称：Basics & Overview of Internal Medicine

【授業スケジュール】

回数	年／月／日	曜日	時 限	内容	担当教員名
1	2027/2/9	火	1	講）内科学概観 内科学とは、EBM と個別医療、 医学的決断と結果の評価	島袋 充生
2	2027/2/9	火	2	講・演）臨床推論 病歴聴取、身体診察の基本	濱口杉大、會田 哲朗、中川紘明、 高橋世、長沼透、 加藤友紀、福田 國悠、庄子啓
3	2027/2/9	火	3	講・演）身体診察① バイタルサインの解釈	濱口杉大、會田 哲朗、中川紘明、 高橋世、長沼透、 薄竜太郎、加藤 友紀、福田國悠、 庄子啓
4	2027/2/9	火	4	演）身体診察② 頭頸部診察 ① 何を見るか、②正常所見、 所見をどう表現するか、④異常所見	鎌田一宏、小野 正博、高橋平安 彦
5	2027/2/9	火	5	演）身体診察③ 胸部診察 ①～④	鎌田一宏、小野 正博、高橋平安 彦
6	2027/2/9	火	6	演）身体診察④ 腹部診察 ①～④	鎌田一宏、小野 正博、高橋平安 彦
7	2027/2/10	水	3	講）栄養管理 人の身体と栄養、医療と栄養	島袋充生
8	2027/2/10	水	4	講・演）スクリーニングと疾患予防 EBM に基づいた予防医療	菅家智史、加藤 友紀、福田國悠、 相馬俊介
9	2027/2/10	水	5	講）現代医療の問題と全人的医療 Polypharmacy, QOL、本人と家族の選択、 Advanced care planning	菅家智史、加藤 友紀、福田國悠、 相馬俊介

【担当教官】

科目・コース（ユニット）名：内科学総論【医学2】

英語名称：Basics & Overview of Internal Medicine

教員氏名	職	所属
島袋充生	教授	糖尿病内分泌代謝内科学講座
濱口杉大	教授	総合内科・総合診療学講座、総合内科・総合診療医センター
鎌田一宏	教授	会津医療センター総合内科、総合内科・総合診療医センター
小野正博	非常勤講師	福島県立宮下病院副院長、総合内科・総合診療医センター
菅家智史	講師	総合内科・総合診療学講座、総合内科・総合診療医センター
會田哲朗	講師	総合内科・総合診療医センター、総合内科・総合診療学講座
中川紘明	助教	総合内科・総合診療医センター、総合内科・総合診療学講座
高橋 世	助手	ふたば救急総合医療支援センター、総合内科・総合診療学講座
長沼 透	助手	ふたば救急総合医療支援センター、総合内科・総合診療学講座
高橋平安彦	助手	会津医療センター総合内科、総合内科・総合診療医センター
薄竜太郎	助手	総合内科・総合診療学講座
相馬俊介	助手	総合内科・総合診療医センター
加藤友紀	助手	総合内科・総合診療医センター
福田國悠	助手	総合内科・総合診療学講座
庄子啓	助手	総合内科・総合診療学講座

【医師として実務経験のある教員による授業科目】

すべての授業において、総合内科医・総合診療医としての実務経験のある教員が実施する